

論文審査の要旨  
Summary of Dissertation Review

|  |                             |              |                 |
|--|-----------------------------|--------------|-----------------|
| 博士の専攻分野の名称<br>Degree   | 博士 (学術)                     | 氏名<br>Author | SOUBIN SISAVATH |
| 学位授与の要件  | 学位規則第4条第①・2項該当              |              |                 |
| 論文題目 Title of Dissertation<br>A Study of Employability of Foreign-Educated Graduates in Lao PDR  |                             |              |                 |
| 論文審査担当者 Dissertation Committee Members   |                             |              |                 |
| 主査 Committee Chair   | 教授 堀田 泰司                    | 印 Seal       |                 |
| 審査委員 Committee Member  | 教授 吉田 和浩                    |              |                 |
| 審査委員 Committee Member  | 准教授 牧 貴愛                    |              |                 |
| 審査委員 Committee Member  | 教授 梅宮 直樹 (上智大学・グローバル教育センター) |              |                 |
| 審査委員 Committee Member  | 教授 廣里 恭史 (上智大学・グローバル教育センター) |              |                 |
| 〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review   |                             |              |                 |
| <p>本研究は、ラオス高等教育における学部卒業生の雇用に留学経験の有無がどのように影響するかを解明することを目的としている。調査は、ビエンチャン市を含む4地域の101の民間企業・政府機関・NGOに勤務する167名の雇用担当者、そして、それらの地域で企業・政府機関・NGOsに勤務するラオス高等教育機関、並びに海外の教育機関の卒業生、合計915名(内、海外学位取得者は379名、国内学位取得者は536名)からオンライン・アンケート調査の回答を得た。また、質問票では、卒業生には9つの側面から合計65問、雇用担当者に対しては7つの側面から59問、質問し回答を得た。そして、32名の海外留学卒業生並びに22名の雇用担当者にオンライン・インタビューを実施し、ラオス労働市場の実態をさらに深く分析した。</p> <p>論文は、9章で構成され、第1章から4章では、問題の所在、歴史的背景、先行研究、調査方法について概説した。また、第5章から7章では、(1)就職前、(2)採用時、そして(3)採用後の3つの段階に分け、卒業生の能力やそのほかの雇用条件に関する学生自身並びに雇用者の評価を分析した。そして、第8章と9章では、データ全体を総合的に分析し、結論をまとめている。審査委員から、本研究は、ラオス人の海外と国内の学位取得者を比較し、さらに一部では、国内の交換留学経験の有無も区別し、3つのタイプの学生の卒業後の国内での雇用機会並びに就労状況について詳しく分析しており、また、調査対象も学生だけでなく雇用者側の意見も十分に反映させた総合的な研究となっている点が高く評価された。さらに、予備審査で全体的な論点の整理と個々の調査結果についてさらに詳細な説明が必要であると指摘を受けたのに対し、就職前、採用時、そして採用後の3つの段階を人的要因(資格や能力)、社会的要因(人的ネットワーク)、文化的要因(異文化へのイメージや理解度)の3つの側面からそれぞれ分析し比較したことは、学術的に新たな試みであり、現状がより詳細かつ、明確に理解することができた点も高く評価された。</p> <p>なお、申請者は、すでに本論文に関連した査読付き論文を国際ジャーナルで3編発表し、国内外の学会でも2編論文を発表している。以上、審査の結果、本審査委員会委員は、本論文が著者に博士(学術)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p> |                             |              |                 |